

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2024年1月18日(18.01.2024)



(10) 国際公開番号

WO 2024/014347 A1

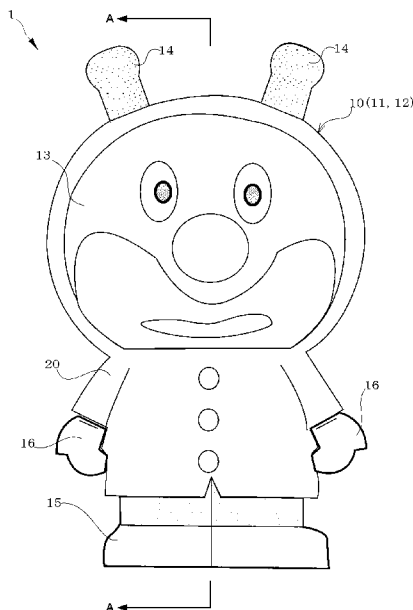
- (51) 国際特許分類:
A63H 3/00 (2006.01) C09D 11/00 (2014.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2023/024698
- (22) 国際出願日: 2023年7月3日(03.07.2023)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2022-112876 2022年7月14日(14.07.2022) JP
- (71) 出願人: 株式会社バンダイ (BANDAI CO., LTD.)
[JP/JP]; 〒1118081 東京都台東区駒形一丁目4番8号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: 肥田野 真由美 (HIDANO Mayumi);
〒1118081 東京都台東区駒形一丁目4番8号 株式会社バンダイ内 Tokyo (JP). 庫本有基子 (KURAMOTO Yukiko); 〒1118081 東京都台東区駒形一丁目4番8号 株式会社バンダイ内 Tokyo (JP). 吉澤 悠 (YOSHIZAWA Yu); 〒1118081 東京都台東区駒形一丁目4

番8号 株式会社バンダイ内 Tokyo (JP). 中村 奈津希 (NAKAMURA Natsuki); 〒1118081 東京都台東区駒形一丁目4番8号 株式会社バンダイ内 Tokyo (JP).

- (81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CV, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IQ, IR, IS, IT, JM, JO, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, MG, MK, MN, MU, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, WS, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, CV, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SC, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU,

(54) Title: DOLL AND DOLL SET

(54) 発明の名称: 人形及び人形セット



(57) Abstract: [Problem] To provide a highly interesting doll. [Solution] A doll 1 is designed in imitation of a character, and comprises a non-color-changeable first portion (face part 13, leg parts 15, and hand parts 16) and a color-changeable second portion (clothing part 20), the first portion being configured so as to include a characteristic part (face part 13) that distinguishes the character.

(57) 要約: 【課題】興味性の高い人形を提供する。【解決手段】人形1は、キャラクタを模したものであり、変色不能な第1部分(顔部13、足部15、及び手部16)と、変色可能な第2部分(衣装部20)と、を備え、第1部分は、キャラクタを特徴付ける特徴部(顔部13)を含んで構成される。

TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, ME, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類：

- 一 国際調査報告（条約第21条(3)）

明 細 書

発明の名称：人形及び人形セット

技術分野

[0001] 本発明は、人形及び人形セットに関する。

背景技術

[0002] 特許文献1には、桃色系の顔料を含有する樹脂材料に、黄色系の色素を含有した示温材料を混合してなる人形の成形材料を用いて成形された、環境温度の変化により皮膚の色が変化する人形が記載されている。

先行技術文献

特許文献

[0003] 特許文献1：特開2004-180849号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0004] 本発明の目的は、興趣性の高い人形及び人形セットを提供することにある。

課題を解決するための手段

[0005] 本発明の一態様の人形は、
キャラクタを模した人形であって、
変色不能な第1部分と、
変色可能な第2部分と、を備え、
上記第1部分は、上記キャラクタを特徴付ける特徴部を含んで構成される、
人形。

[0006] 本発明の一態様の人形は、上記特徴部は、上記キャラクタの顔を構成する顔部を含む、
人形。

[0007] 本発明の一態様の人形は、

上記第2部分は、キャラクタの衣装を構成する衣装部を含む、
人形。

[0008] 本発明の一態様の人形は、

上記衣装部は、レインコートを模したものである、
人形。

[0009] 本発明の一態様の人形は、

上記衣装部は、上記顔部を露出させた状態で、上記キャラクタの頭を覆っ
ている、
人形。

[0010] 本発明の一態様の人形は、

上記第1部分は、上記衣装部を挟んで上記顔部と離間した位置に設けられ
た非顔部を含む、
人形。

[0011] 本発明の一態様の人形は、

上記第1部分は、離間して設けられた複数の上記非顔部を含む、
人形。

[0012] 本発明の一態様の人形は、

上記非顔部は、キャラクタの手及び足の少なくとも一方を構成する部分で
ある、
人形。

[0013] 本発明の一態様の人形は、

中空形状にて構成されており、
上記非顔部は、キャラクタの足を構成する足部を含み、
上記足部には、内部空間を外部と連通させる開口が設けられる、
人形。

[0014] 本発明の一態様の人形は、

上記開口は、上記足部の裏側に複数個設けられている、
人形。

- [0015] 本発明の一態様の人形は、
上記足部には、上記人形を正立状態で載置面に載置した状態で、その載置面から距離を有する離間壁が設けられ、
上記開口は、上記離間壁に設けられている、
人形。
- [0016] 本発明の一態様の人形は、
上記足部の上記載置面に接触する部分には、色彩塗装が施されていない、
人形。
- [0017] 本発明の一態様の人形は、
複数の部材の組合せにて構成されており、
少なくとも一部の上記第1部分は、上記第2部分とは別部材にて構成されている、
人形。
- [0018] 本発明の一態様の人形は、
上記第2部分は、温感インクによって塗装されている、
人形。
- [0019] 本発明の一態様の人形セットは、
キャラクタを模した人形を複数含む人形セットであって、
上記複数の人形は、それぞれ、変色不能な第1部分と、変色可能な第2部分と、を備え、
上記第1部分は、上記複数の人形毎に、形状、色彩、及び印刷画像の少なくとも1つが異なる部分である、
人形セット。
- [0020] 本発明の一態様の人形セットは、
キャラクタを模した人形を複数含む人形セットであって、
上記複数の人形は、それぞれ、変色不能な第1部分と、変色可能な第2部分と、を備え、
上記第2部分は、上記複数の人形毎に、少なくとも形状が同じ部分である

、
人形セット。

[0021] 本発明の一態様の人形セットは、キャラクタを模した人形を複数含む人形セットであって、上記複数の人形は、それぞれ、変色不能な第１部分と、変色可能な第２部分と、を備え、上記第２部分は、上記複数の人形毎に、少なくとも形状が同じ部分である、ものである。

発明の効果

[0022] 本発明によれば、興趣性を高めることができる。

図面の簡単な説明

[0023] [図1]本発明の一実施形態である人形１の概略構成を示す正面図である。

[図2]図１に示す人形１の側面図である。

[図3]図１に示す人形１のＡ－Ａ矢視の断面図である。

[図4]図１に示す人形１が変色した状態を示す正面図である。

[図5]図１に示す人形１が変色した状態を示す側面図である。

[図6]人形セットを示す模式図である。

発明を実施するための形態

[0024] 図１は、本発明の一実施形態である人形１の概略構成を示す正面図である。図２は、図１に示す人形１の側面図である。図３は、図１に示す人形１のＡ－Ａ矢視の断面図である。

人形１は、アニメーションや漫画等に登場する特定のキャラクタを模したものである。人形１は、雨具としてのレインコートを着た状態のキャラクタを模したものとなっている。

[0025] 人形１は、キャラクタの顔を構成する顔部１３と、キャラクタの右手と左手をそれぞれ構成する手部１６と、キャラクタの右足及び左足を一体的に構成する足部１５と、キャラクタの衣装（具体的にはレインコート）を構成する衣装部２０と、キャラクタの頭部に設けられた角を構成する一対の角部１４と、を備える。衣装部２０は、足部１５、手部１６、顔部１３、及び角部

14を除く部分（キャラクタの胴体、腕、頭部）を覆うように構成されている。つまり、衣装部20は、顔部13を露出させた状態で、特定のキャラクタの頭を覆う構成となっている。

[0026] 一対の手部16と足部15は、離間して配置されている。また、手部16と足部15は、それぞれ、衣装部20を挟んで顔部13と離間した位置に設けられている。

[0027] 顔部13は、キャラクタを特徴づける部分（換言すると、キャラクタの識別に必要な特徴を持つ部分）であり、この部分の色や形状や模様によって、人形1が特定のキャラクタを模したものであることを認識可能になっている。なお、顔部13は、樹脂等で構成された部材の凹凸（すなわち形状）によって顔が表現されたものであってもよいし、樹脂等で構成された部材に塗布された塗料（すなわち色）によって顔が表現されたものであってもよいし、樹脂等で構成された面状の部材に印刷された画像によって顔が表現されたものであってもよい。同様に、角部14は、キャラクタを特徴づける部分であり、この部分の色や形状や模様によって、人形1が特定のキャラクタを模したものであることを認識可能になっている。つまり、人形1は、顔部13及び角部14のうちの少なくとも1つの色、形状、又は模様によって、特定のキャラクタを模しているものと認識可能である。

[0028] このように、顔部13と角部14は、それぞれ、キャラクタを特徴づける特徴部を構成する。人形1において、この特徴部以外の部分を非特徴部と記載する。非特徴部は、足部15、手部16、及び衣装部20によって構成される。なお、対象とするキャラクタによっては、角部14が存在しない場合もある。また、キャラクタによっては、足部15及び手部16が特徴部となる場合もある。

[0029] 人形1は、3つの部材の組み合わせによって構成されている。この3つ部材は、超音波接着等によって固着されている。具体的には、図3に示すように、人形1は、樹脂等で構成されたお椀状の部材からなる顔部13と、樹脂等で構成された中空形状の本体部10と、から構成されている。本体部10

は、衣装部 20 の前側、角部 14、足部 15 の前側、及び手部 16 を構成する前部材 11 と、衣装部 20 の後側及び足部 15 の後側を構成する後部材 12 と、の組み合わせによって構成されている。例えば、前部材 11 と後部材 12 は分割ライン PL において固着され、顔部 13 は、前部材 11 に設けられた開口 11a に嵌められた状態で、前部材 11 に固着されている。

[0030] 前部材 11 と後部材 12 が固着されることで、人形 1 の内部には、前部材 11 の壁部と後部材 12 の壁部とで囲まれる内部空間 SP が形成される。前部材 11 における足部 15 を構成する部分には、内部空間 SP を外部に連通させる開口 18 が形成されている。後部材 12 における足部 15 を構成する部分には、内部空間 SP を外部に連通させる開口 18 が形成されている。足部 15 は、図 3 に示すように人形 1 を正立状態で載置面 30 に載置した状態で、載置面 30 と接触する部分である。具体的には、足部 15 の底面 15b が載置面 30 と接触する。足部 15 には、凹部 15a が設けられている。この凹部 15a の底壁部 17 は、載置面 30 から距離を有する離間壁を構成しており、開口 18 は、この底壁部 17 を貫通する形で形成されている。

[0031] 前部材 11、後部材 12、及び顔部 13 は、例えば白色等の任意の色の部材によって構成されている。そして、顔部 13、角部 14、足部 15、及び手部 16 には、それぞれ、特定のキャラクタに応じた色の塗装が施されている。これらに塗られた塗料は、温度変化によって色が変わることはないものが用いられている。

[0032] 一方、前部材 11 と後部材 12 のうち、角部 14、足部 15、及び手部 16 を除く部分と、顔部 13 が固着された領域を除く部分には、温感インクが塗布されている。前部材 11 と後部材 12 のうち、温感インクが塗布された領域が衣装部 20 を構成している。

[0033] 衣装部 20 を構成している温感インクは、温度によって色が変化可能なものであり、例えば特許文献 1 に示したようなものを採用できる。本形態では、温感インクとして、26℃から32℃の範囲では無色（つまり透明）となり、10℃から16℃の範囲では、例えば水色、緑色、青色、又は赤色等に

発色するものが用いられるが、これに限定されるものではない。

[0034] 前部材 1 1 及び後部材 1 2 自体の色は、温感インクが発色したときのその色よりも淡い色とすることが好ましい。具体的には、前部材 1 1 及び後部材 1 2 自体の色を白とし、温感インクの色を水色とすればよい。別の例としては、前部材 1 1 及び後部材 1 2 自体の色をピンクとし、温感インクの色を青色とすればよい。このようにすることで、温感インクが発色した状態では、温感インクの色が強く認識されることとなり、温度による色の変化を楽しむことができる。

[0035] 以上のように構成された人形 1 は、例えば室温に置かれている状態では、温感インクが発色していないため、図 1 に示すように、衣装部 2 0 において、前部材 1 1 及び後部材 1 2 自体の色（例えば白色）が視認される状態となる。図 1 に示す状態から、例えば人形 1 を氷水に浸すと、温感インクが発色する。これにより、人形 1 の衣装部 2 0 は、図 4 及び図 5 に示すように色が変化する。一方、顔部 1 3、角部 1 4、足部 1 5、及び手部 1 6 については、人形 1 が室温にある状態と氷水に浸された状態とのいずれの状態であっても、色は変化しない。

[0036] このように、人形 1 では、顔部 1 3、角部 1 4、足部 1 5、及び手部 1 6 が変色不能に構成され、衣装部 2 0 が変色可能に構成されているため、キャラクタ自体の見た目を変えることなく、キャラクタの着ている衣装だけ色を変えることができる。この結果、好きなキャラクタの表情等はそのままに、衣装の色の变化を楽しむことができ、興趣性を高めることができる。

[0037] また、人形 1 では、変色不能に構成されている部分（顔部 1 3、角部 1 4、足部 1 5、及び手部 1 6）が纏まった箇所に配置されているのではなく、離間した位置に複数箇所存在している。これにより、キャラクタ本体に対する衣装の色の变化がより強調されるようになり、興趣性を高めることができる。

[0038] また、人形 1 では、足部 1 5 の裏側の底壁部 1 7 に開口 1 8 が設けられている。このため、人形 1 が水中に入り、内部空間 S P に水が浸入した場合で

あっても、その水を開口１８から外部に排出することができる。開口１８が複数設けられていることで、水の排出を容易に行うことが可能である。また、開口１８は、足部１５の裏側の凹部１５aの底壁部１７に設けられている。このため、人形１を載置面３０に載置している状態であっても、水を容易に排出できる。また、複数の開口１８であっても、それが視認されにくくなるため、人形１の外観性を高めることができる。

[0039] また、人形１は、複数の部材の組合せにて構成されており、顔部１３は、本体部１０とは別部材にて構成されている。このため、例えば、顔部１３を別の物に交換するだけで、別のキャラクタを模した人形を製造でき、製造コストを低減できる。また、顔部１３を交換可能に構成しておくことで、様々なキャラクタにおいて衣装の色の変化を楽しむことができる。

[0040] 以上の説明では、変色不能な第１部分が顔部１３、角部１４、足部１５、及び手部１６であり、変色可能な第２部分が衣装部２０であるものとした。この変形として、変色不能な第１部分が顔部１３及び角部１４であり、変色可能な第２部分が衣装部２０、足部１５、及び手部１６であってもよい。この場合は、衣装部２０、足部１５、及び手部１６のそれぞれに温感インクが塗布されていればよい。また、変色不能な第１部分が顔部１３であり、変色可能な第２部分が衣装部２０、角部１４、足部１５、及び手部１６であってもよい。この場合は、衣装部２０、角部１４、足部１５、及び手部１６のそれぞれに温感インクが塗布されていればよい。また、変色不能な第１部分が顔部１３と角部１４と手部１６であり、変色可能な第２部分が衣装部２０と足部１５であってもよい。この場合は、衣装部２０と足部１５に温感インクが塗布されていればよい。つまり、人形１においては、少なくとも顔部１３が変色不能に構成され、少なくとも衣装部２０が変色可能に構成されていればよい。

[0041] 足部１５は、温度によって色が変化しない塗料が塗装されるものとしたが、足部１５の底面１５bは、色彩塗装を施さなくてもよい。足部１５の底面１５bは、載置面３０と頻繁に接触する部分であり、塗装がはがれやすい。

また、ここに塗装がなくとも、キャラクタの印象に変化はない。このように足部 15 の底面 15 b を非塗装とすることで、製造コストを低減できる。

[0042] 図 6 は、本発明の一実施形態である人形セットを示す模式図である。この人形セットは、図 1 に示した人形 1 と、人形 1 A と、を備える。人形 1 A は、角部 14 が削除され、顔部 13 が顔部 13 A に変更され、手部 16 と足部 15 の色彩が変更された点を除いては、人形 1 と同じ構成である。顔部 13 A と顔部 13 は、形状、色彩、及び印刷画像の少なくとも 1 つが異なっている。

[0043] このように、人形セットは、顔部の形状、色彩、及び印刷画像の少なくとも 1 つが異なる複数の人形によって構成される。また、人形セットは、少なくとも衣装部 20 の形状が同一の複数の人形によって構成される。このように、人形セットでは、衣装部 20 が少なくとも同じ形状となっていることで、キャラクタ毎に同じデザインの衣装部 20 の色を変えて楽しむことができ、人形セットとして興趣性を向上させることができる。

符号の説明

[0044] 1 人形
13 顔部
20 衣装部

請求の範囲

- [請求項1] キャラクタを模した人形であって、
 変色不能な第1部分と、
 変色可能な第2部分と、を備え、
 前記第1部分は、前記キャラクタを特徴付ける特徴部を含んで構成
 される、
 人形。
- [請求項2] 請求項1に記載の人形であって、
 前記特徴部は、前記キャラクタの顔を構成する顔部を含む、
 人形。
- [請求項3] 請求項2に記載の人形であって、
 前記第2部分は、キャラクタの衣装を構成する衣装部を含む、
 人形。
- [請求項4] 請求項3に記載の人形であって、
 前記衣装部は、レインコートを模したものである、
 人形。
- [請求項5] 請求項3に記載の人形であって、
 前記衣装部は、前記顔部を露出させた状態で、前記キャラクタの頭
 を覆っている、
 人形。
- [請求項6] 請求項3に記載の人形であって、
 前記第1部分は、前記衣装部を挟んで前記顔部と離間した位置に設
 けられた非顔部を含む、
 人形。
- [請求項7] 請求項6に記載の人形であって、
 前記第1部分は、離間して設けられた複数の前記非顔部を含む、
 人形。
- [請求項8] 請求項6に記載の人形であって、

前記非顔部は、キャラクタの手及び足の少なくとも一方を構成する部分である、

人形。

[請求項9] 請求項8に記載の人形であって、
中空形状にて構成されており、
前記非顔部は、キャラクタの足を構成する足部を含み、
前記足部には、内部空間を外部と連通させる開口が設けられる、
人形。

[請求項10] 請求項9に記載の人形であって、
前記開口は、前記足部の裏側に複数個設けられている、
人形。

[請求項11] 請求項10に記載の人形であって、
前記足部には、前記人形を正立状態で載置面に載置した状態で、当該載置面から距離を有する離間壁が設けられ、
前記開口は、前記離間壁に設けられている、
人形。

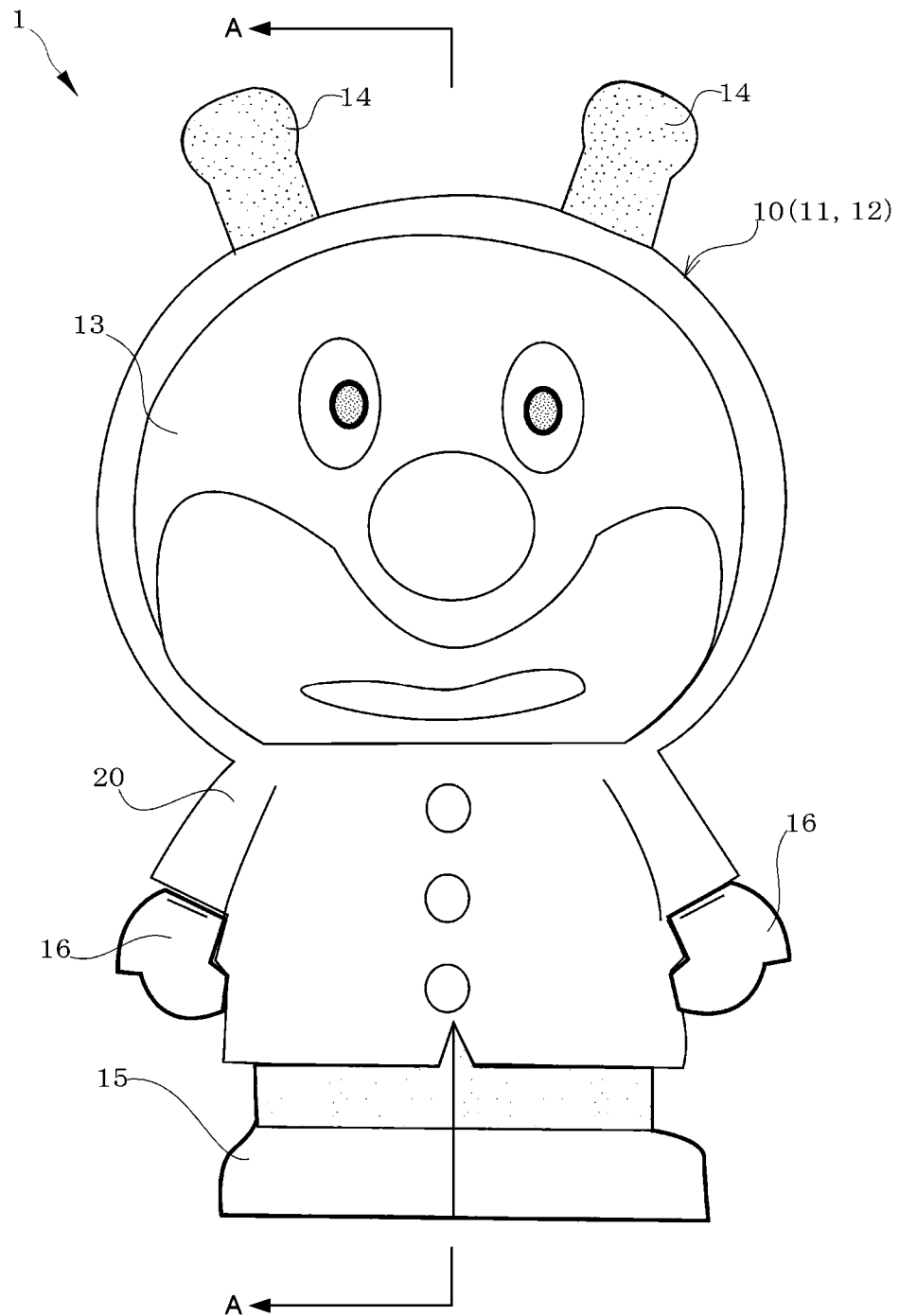
[請求項12] 請求項11に記載の人形であって、
前記足部の前記載置面に接触する部分には、色彩塗装が施されていない、
人形。

[請求項13] 請求項1に記載の人形であって、
複数の部材の組合せにて構成されており、
少なくとも一部の前記第1部分は、前記第2部分とは別部材にて構成されている、
人形。

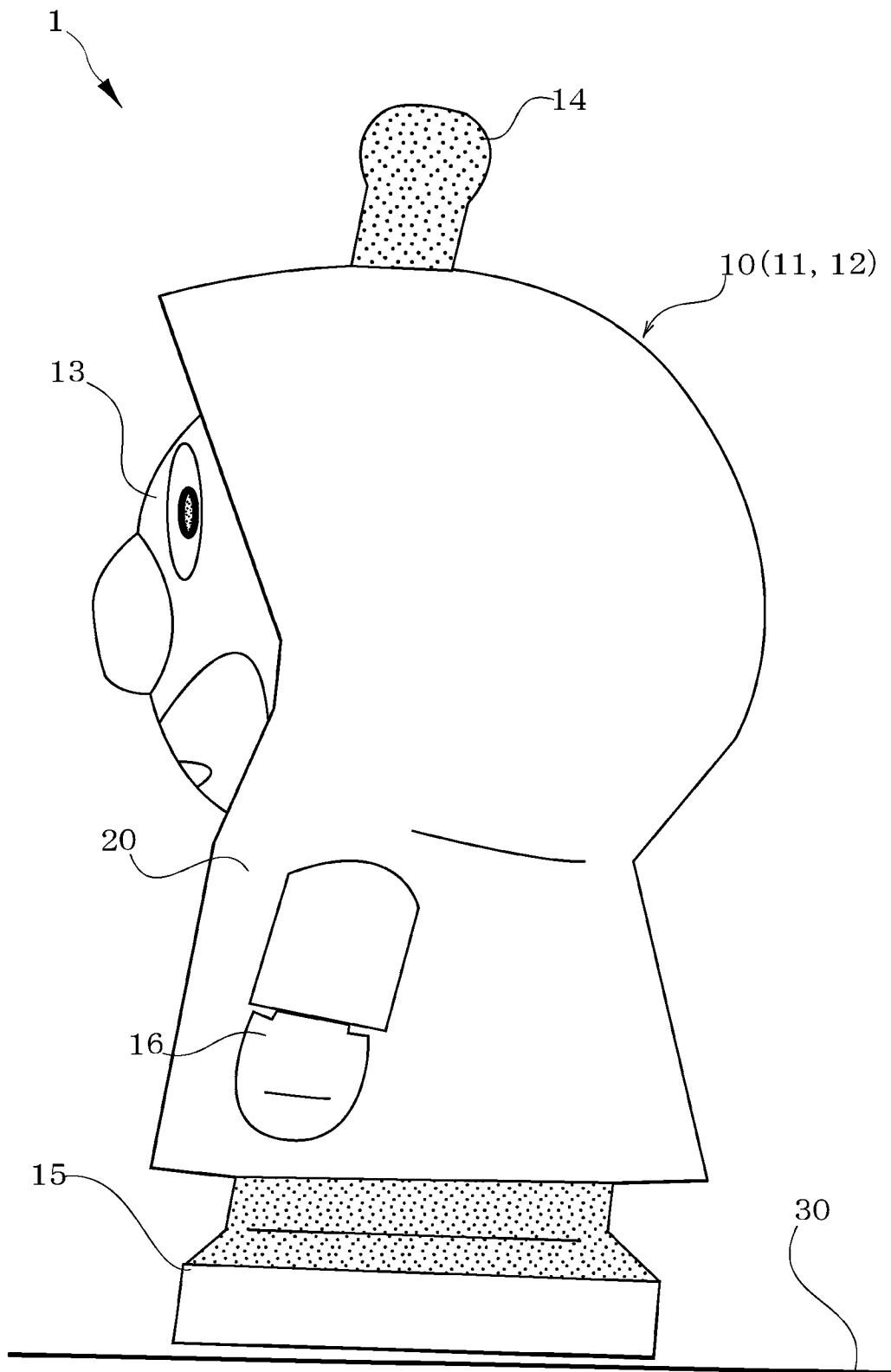
[請求項14] 請求項1に記載の人形であって、
前記第2部分は、温感インクによって塗装されている、
人形。

- [請求項15] キャラクタを模した人形を複数含む人形セットであって、
 前記複数の人形は、それぞれ、変色不能な第1部分と、変色可能な
 第2部分と、を備え、
 前記第1部分は、前記複数の人形毎に、形状、色彩、及び印刷画像
 の少なくとも1つが異なる部分である、
 人形セット。
- [請求項16] キャラクタを模した人形を複数含む人形セットであって、
 前記複数の人形は、それぞれ、変色不能な第1部分と、変色可能な
 第2部分と、を備え、
 前記第2部分は、前記複数の人形毎に、少なくとも形状が同じ部分
 である、
 人形セット。

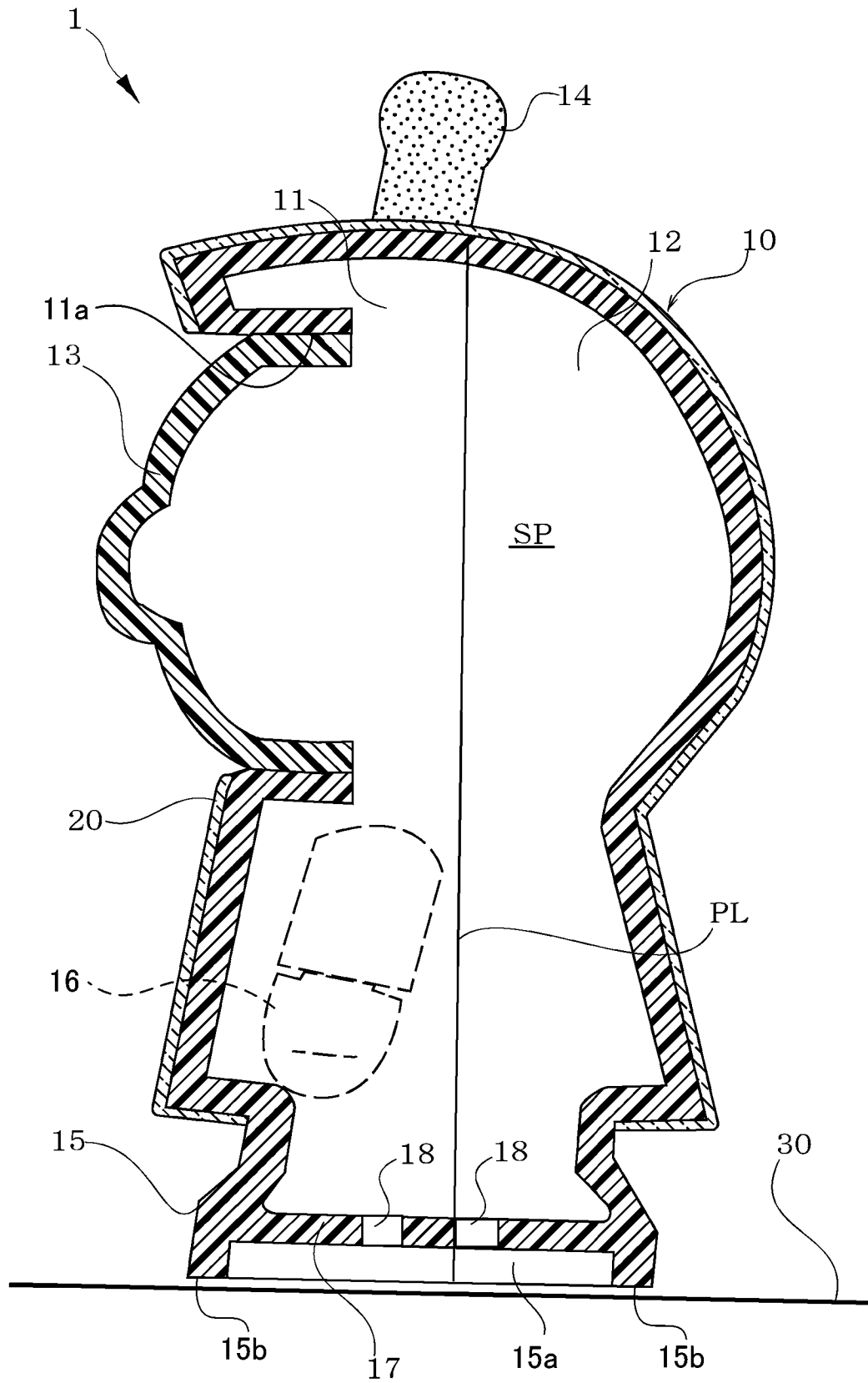
[図1]



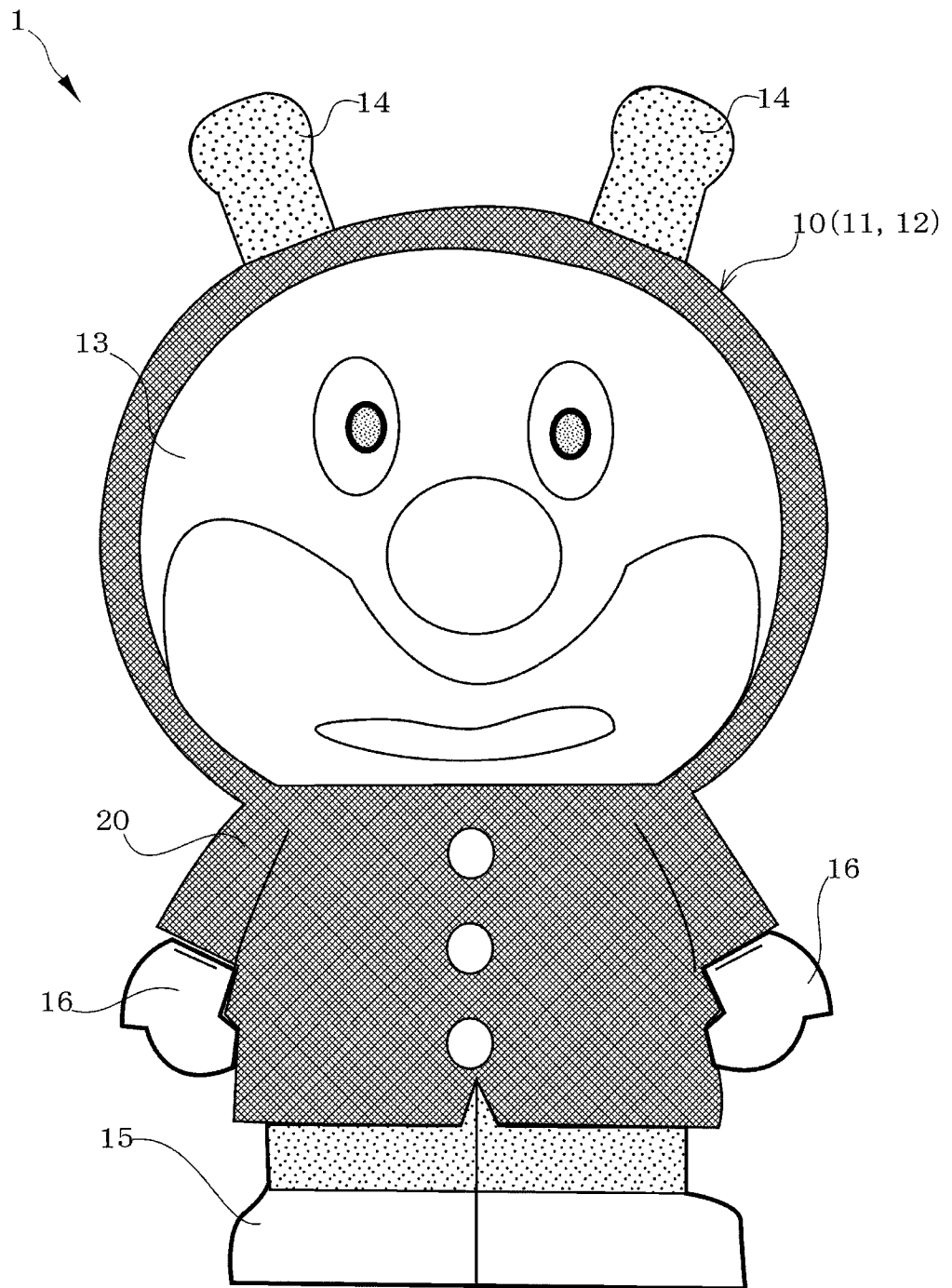
[図2]



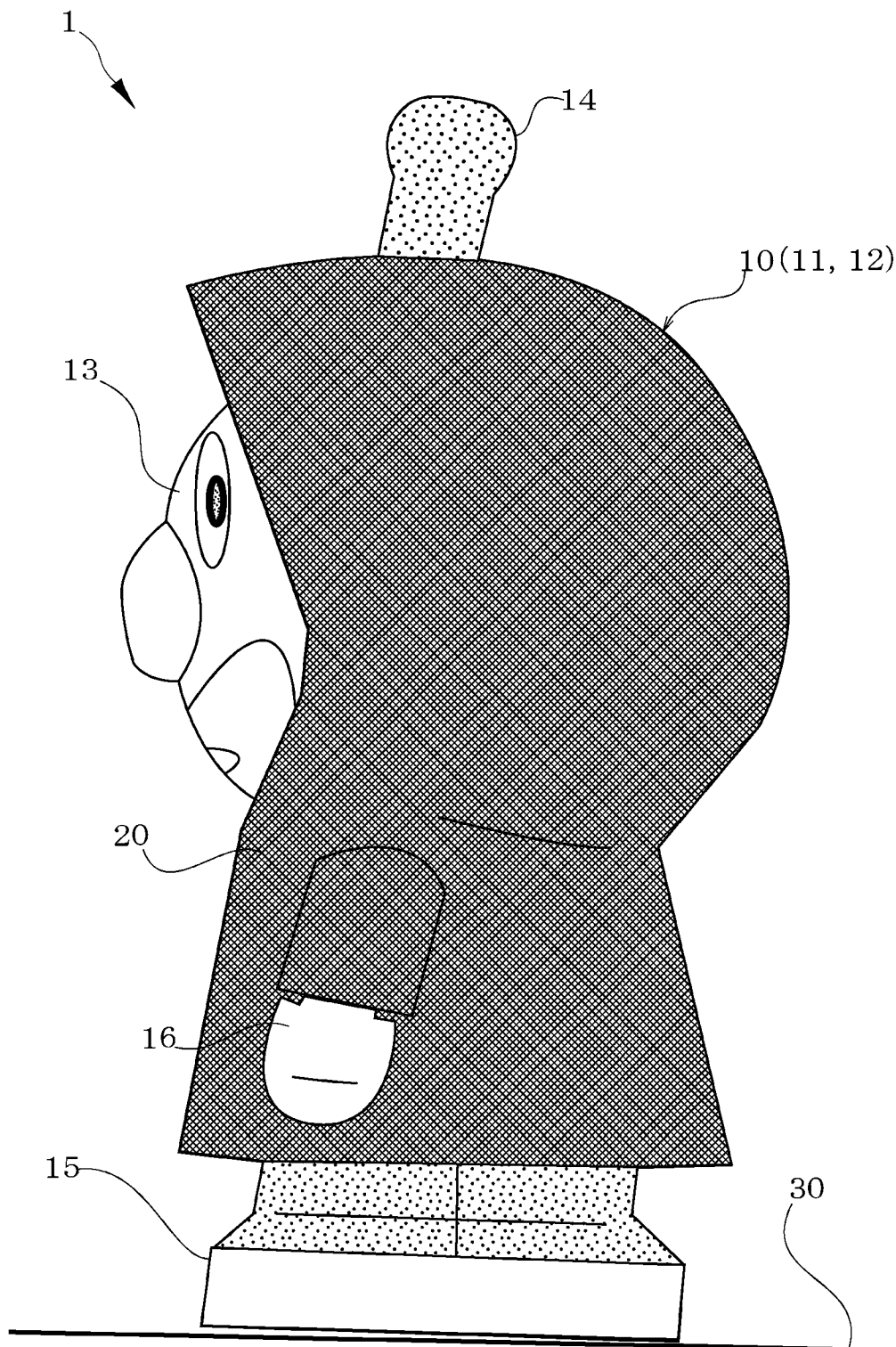
[図3]



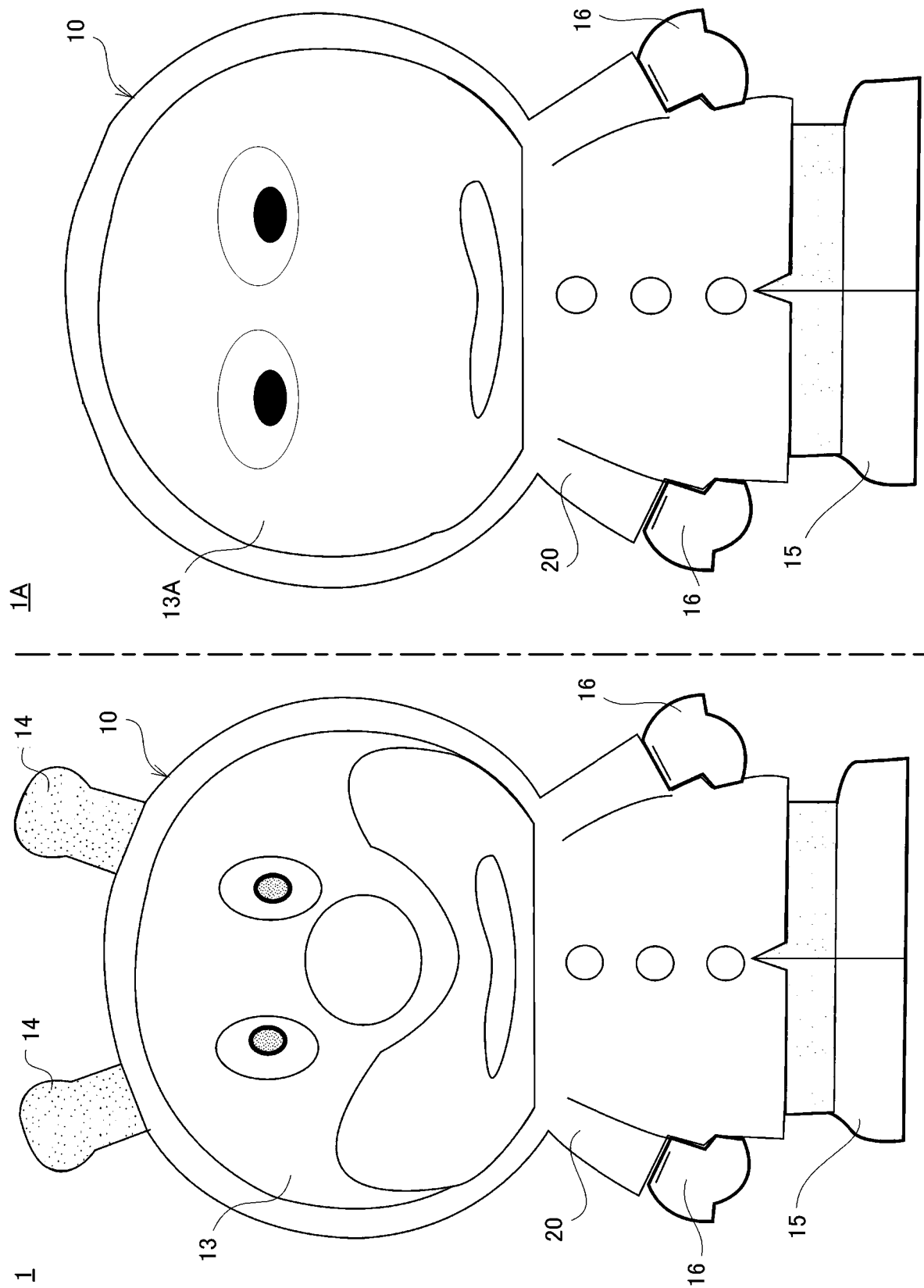
[図4]



[図5]



[図6]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2023/024698

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER*A63H 3/00*(2006.01)i; *C09D 11/00*(2014.01)i

FI: A63H3/00 V; C09D11/00

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

A63H3/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Published examined utility model applications of Japan 1922-1996

Published unexamined utility model applications of Japan 1971-2023

Registered utility model specifications of Japan 1996-2023

Published registered utility model applications of Japan 1994-2023

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 146772/1973 (Laid-open No. 90791/1975) (ADACHI, Minori) 31 July 1975 (1975-07-31), specification, p. 1, line 7 to p. 2, line 2, fig. 1	1-8, 14-16
Y		9-10, 13
Y	JP 2001-178971 A (FUJI TOY KK) 03 July 2001 (2001-07-03) paragraphs [0010]-[0013], fig. 2	9-10, 13
A	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 68869/1988 (Laid-open No. 172890/1989) (NAKAGAWA, Shigeyoshi) 07 December 1989 (1989-12-07), entire text, all drawings	1-16
A	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 030053/1972 (Laid-open No. 105694/1973) (KANEDA, Kai) 08 December 1973 (1973-12-08), entire text, all drawings	1-16



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

“A” document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

“E” earlier application or patent but published on or after the international filing date

“L” document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

“O” document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

“P” document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

“T” later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

“X” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

“Y” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

“&” document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

19 July 2023

Date of mailing of the international search report

01 August 2023

Name and mailing address of the ISA/JP

Japan Patent Office (ISA/JP)

3-4-3 Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8915

Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.
PCT/JP2023/024698

Patent document cited in search report			Publication date (day/month/year)	Patent family member(s)	Publication date (day/month/year)
JP	50-90791	U1	31 July 1975	(Family: none)	
JP	2001-178971	A	03 July 2001	(Family: none)	
JP	1-172890	U1	07 December 1989	(Family: none)	
JP	48-105694	U1	08 December 1973	(Family: none)	

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC）） A63H 3/00(2006.01)i; C09D 11/00(2014.01)i FI: A63H3/00 V; C09D11/00										
B. 調査を行った分野										
調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC）） A63H3/00										
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの										
<table border="0"> <tr> <td>日本国実用新案公報</td> <td>1922-1996年</td> </tr> <tr> <td>日本国公開実用新案公報</td> <td>1971-2023年</td> </tr> <tr> <td>日本国実用新案登録公報</td> <td>1996-2023年</td> </tr> <tr> <td>日本国登録実用新案公報</td> <td>1994-2023年</td> </tr> </table>			日本国実用新案公報	1922-1996年	日本国公開実用新案公報	1971-2023年	日本国実用新案登録公報	1996-2023年	日本国登録実用新案公報	1994-2023年
日本国実用新案公報	1922-1996年									
日本国公開実用新案公報	1971-2023年									
日本国実用新案登録公報	1996-2023年									
日本国登録実用新案公報	1994-2023年									
国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）										
C. 関連すると認められる文献										
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号								
X	日本国実用新案登録出願48-146772号(日本国実用新案登録出願公開50-90791号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム（足立 ミノリ） 31.07.1975（1975-07-31）明細書第1頁第7行-第2頁第2行, 第1図	1-8, 14-16								
Y		9-10, 13								
Y	JP 2001-178971 A（株式会社フジトイ）03.07.2001（2001-07-03） 段落[0010]-[0013], 図2	9-10, 13								
A	日本国実用新案登録出願63-68869号(日本国実用新案登録出願公開1-172890号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム（中川 茂善） 07.12.1989（1989-12-07）全文, 全図	1-16								
A	日本国実用新案登録出願47-030053号(日本国実用新案登録出願公開48-105694号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム（金田 魁） 08.12.1973（1973-12-08）全文, 全図	1-16								
☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。 ☒ パテントファミリーに関する別紙を参照。										
<table border="0"> <tr> <td> * 引用文献のカテゴリー “A” 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの “E” 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの “L” 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す） “O” 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 “P” 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献 </td> <td> “T” 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と抵触するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの “X” 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの “Y” 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの “&” 同一パテントファミリー文献 </td> </tr> </table>			* 引用文献のカテゴリー “A” 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの “E” 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの “L” 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す） “O” 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 “P” 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献	“T” 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と抵触するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの “X” 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの “Y” 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの “&” 同一パテントファミリー文献						
* 引用文献のカテゴリー “A” 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの “E” 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの “L” 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す） “O” 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 “P” 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献	“T” 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と抵触するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの “X” 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの “Y” 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの “&” 同一パテントファミリー文献									
国際調査を完了した日 19.07.2023	国際調査報告の発送日 01.08.2023									
名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 〒100-8915 日本国 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	権限のある職員（特許庁審査官） 井上 香緒梨 2D 3614 電話番号 03-3581-1101 内線 3241									

国際調査報告
パテントファミリーに関する情報

国際出願番号

PCT/JP2023/024698

引用文献			公表日	パテントファミリー文献	公表日
JP	50-90791	U1	31.07.1975	(ファミリーなし)	
JP	2001-178971	A	03.07.2001	(ファミリーなし)	
JP	1-172890	U1	07.12.1989	(ファミリーなし)	
JP	48-105694	U1	08.12.1973	(ファミリーなし)	